

戸籍の窓

4月1日～5月末届出分
(ゴシック文字は地区在住)

●すこやかに

前田 玄陽(げんよう)くん(宇受賀・拓郎さん)
 豊田 康介(こうすけ)くん(菱浦・庄吾さん)
 佐古 悠人(ゆうと)くん(崎・大輔さん)
 銭谷 美波(みなみ)ちゃん(北分・実さん)
 渡辺 耕生(こうせい)くん(菱浦・寛さん)

●えんむすび

土井 智弘さん
 仲谷 真菜さん(菱浦)

●やすらかに

※年齢は満年齢

岡本 富美江さん
 (中里, 62歳)

西脇 竜司さん
 柏原 里美さん(宇受賀) 大前一安さん
 (北分, 103歳)

石山 剛央さん(崎)
 上月 あづささん 岩城数枝さん
 (菱浦, 93歳)

前田 貴彦さん(御波) 島根房雄さん
 中野 まりこさん (御波, 80歳)

石山 広大さん(東) 吉田秀夫さん
 仲田 奈央さん (崎, 79歳)

脇田 哲也さん(福井) 細川マキさん
 梶原 緑沙さん (東, 94歳)

久武 勇士さん
 渡邊 綾希子さん(崎)

御礼申し上げます

〔海士町社会福祉協議会〕

◆香典返し

藤田 晴男様(大阪府)
 松谷 ひとみ様(菱浦)
 村上 幸壽様(北分)
 梶谷 修一様(菱浦)
 岡本 稔様(中里)
 島根 元様(御波)
 細川 紀男様(松江市)

〔特別養護老人ホーム諏訪苑〕

◆香典返し

村上 幸壽様(北分)
 細川 紀男様(松江市)

◆広報郵送料(6月17日まで)

門脇 光男様(松江市)
 尾崎 寿子様(大東市)
 山中 澄子様(松江市)
 新宅 峯代様(高座郡)
 本田 薫 様(練馬区)
 妹尾 准子様(隠岐の島町)
 吉川 安彦様(大阪市)
 平田 稔 様(みよし市)
 大前 紀典様(神戸市)
 小川 博昭様(境港市)

◆篤志寄付

近畿海士後鳥羽会様

キラリ★海士人

『まちづくりは会議室で起きてるんじゃない、
現場で起きてるんだ!』

町

長の特命を受け、平成 17 年から(株)ふるさと海士に配属されていた役場職員の濱中さん。島の水産業を救う使命を負った「CAS 凍結センター」の一員として、商品の企画から製造、営業まで、幅広く携わってきました。

岩がきや白いかなどの入荷時期、朝から生産者に混じって作業を行うのは当たり前。「職員の枠を超えた仕事をしよう」という攻めの姿勢を貫き、現場にこだわる情熱や、民間企業のようなビジネス感覚を培いました。

本人曰く、成長は上司である奥田和司さんの薫陶のたまもの。「ちゃんと稼いで自立を目指す考え方、途中で諦めない強い信念など、産業振興の現場で学ばせていただいた。最近では、それをいかに応用するか、周りに広めるにはどうしたらいいかを考えるようになって…」

機が熟したサインか、CAS11 年目にして異動が決まり、7 月から教育魅力化の新担当に。春からは海士町版創生総合戦略プロジェクト「明日の海士をつくる会」(通称あすあま)の事務局



濱中 香理さん

(39歳、海士出身、中里在住)

長も担当しています。(※ P11 参照) 「あすあまで一番大事なことは、計画の策定よりも、自分たち自身が計画づくりのプロセスを通じていかに変わりどう動くのかということ。まずは自分を輝かせなきゃ、と強く思ってます」

CASを卒業、新しい立場で『自分を変える』挑戦を始めたものの、変わらぬ想いは“現場主義”。「濱中と言えあればあれだ!」というような、自分が一番輝ける現場を作っていきたい。島のまちづくりを担う次世代の一員として、決意の表情を見せてくれました!(聞き手:総務課 小坂)